

Fureai

Fujita Related All Information

2021 7.1
Vol.
283

【レポート】

1年7カ月に及んだ設備復旧作業が完了

郡山コイルセンター 水害復旧記念式典

【お知らせ】

2021年 祝日の変更

組織変更・人事異動

仕事と家庭の両立支援と
女性活躍推進の取り組み

レポート

郡山コイルセンター 水害復旧記念式典

2021年5月27日に福島県郡山コイルセンターで水害復旧記念式典が行われました。

一昨年の2019年10月12日から13日にかけて本州に上陸した台風19号の影響により阿武隈川及び支流の谷田川が氾濫。郡山中央工業団地の全域が浸水しました。団地のほぼ中央に位置する郡山コイルセンターも事務所並びに工場内が最大80cmの浸水に見舞われ、各種設備及び保管中の鋼材が被災しました。被災直後から構内清掃と設備の復旧を開始し、生産については事業部内外のサポートを受けながら業務を続け、1年7か月に渡り段階的に設備の復旧を完了してきました。

この度、すべての設備復旧が完了したことを受け、5月27日に水害復旧記念式典が執り行われました。本来であればお取引先をお招きしたいところではありましたが、新型ウイルス感染拡大防止の観点から、社内より24名、新聞記者2名の合計26名で行われました。

式典に先駆けて、新たに稼働した新しいレベラーとスリッターの内覧会が行われました。社員のご案内のもと、月産2000トンから3200トンに増強され、水害対策として最大50cmかさ上げされた新ラインの運転を参加者全員で見学し、本格復旧を肌で感じる事ができました。

工場見学を終えると記念式典に移りました。工場内に安全祈願用の祭壇を設け、その前に社長をはじめ全員が着座しました。社員より開会の

発声があり、続いて安全祈願祭を行いました。「東北のお伊勢様」とも呼ばれる開成山大神宮の神主2名にお越しいただき、厳かに執り行われました。式次第としては修祓(しゅばつ)、降神(こうしん)、献饌(けんせん)、祝詞奏上(のりとそうじょう)、清祓(きよはらい)、玉串奉奠(たまぐしほうてん)、撤饌(てっせん)、昇神(しょうしん)を順に行い、参加者と建物設備全体のお清め、神様のお迎えと供物奉納、神前への玉串奉納により今後の安全操業を参加者全員で祈願しました。

続いて式辞として社長より、「会社として復旧を決断したとき郡山コイルセンターが必要と再認識した。復旧までに尽力したすべての社員と関係者に感謝したい。まずは安全操業を確立し、効率化を進めながら安定的な稼働を目指していきたい」と温かいお言葉をいただきました。その後、参加者各位の挨拶がなされ、滞りなく終了しました。

また、再稼働にあたり更なる繁栄の想いを込め、社長よりガラス製の「折り紙鶴」を模した置物が贈呈され、事務所内に飾られることになりましたので、事務所にお立ち寄りの際は是非ご覧になつてください。

ご注意ください！ 2021年の祝日に変更されています

「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催により、2021年は特例で以下の通り祝日の変更が行われています。
オリンピック開会式=7月23日(金)、閉会式=8月8日(日)

2021年 祝日の変更

※2021年(令和3年)国民の祝日については内閣府のホームページに掲載されています



7月19日(月)
通常7月の第三月曜日



10月11日(月)
通常10月の第二月曜日



8月11日(水)
通常8月11日



山の日8月8日(日)の変更に
伴い8月9日(月)が振替休日

上記にある祝日の取り扱いについての内閣府からの発表は2020年12月4日付だったため、既に変更前の状態のカレンダーや手帳が多数流通しており混乱が生じていますが、正しくは上記の通りとなります。

- ◆当社の社名入り贈呈用カレンダー = 変更前の祝日表記となっておりますのでご注意ください
- ◆当社の2021年度勤務カレンダー = 2021年2月に検討・決定しているため上記祝日変更は反映されています

レポート

八千代町 一斉ボランティア清掃に参加しました

本社を置く新潟市の八千代町町内会より一斉ボランティア清掃の依頼を受け、管理本部から9名が参加しました。以前までは総務部のみでしたが、今回から経理部より3名、情報システムチームより2名、総務部より4名が参加。当初は2021年5月27日に実施の予定が、雨天のため1週間延期となり6月3日の開催となりました。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止になりましたが、屋外での活動であることから、感染対策を十分に行った上で実施。八千代町内にある企業が参加し、それぞれの敷地内の清掃を行いました。

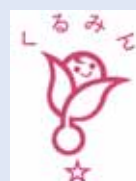
当社は主にNST社屋前にある社員駐車場のゴミ拾いと草取りを担当。参加社員はユニフォームや汚れてもいい服装に着替え、約1時間の清掃を行いました。普段は気づかない所も気にしてみると、敷地内にはたくさんの草が生えていて、小さなゴミがたくさん落ちていました。最後は大きなゴミ袋がいっぱいになり、清掃前よりもスッキリとした駐車場になりました。

仕事と家庭の両立支援と 女性活躍推進の取り組み

仕事と家庭の両立支援の取り組み

両立支援の取り組みは、次世代育成支援対策推進法（次代の社会を担う子供が健やかに生まれ育成される環境を整備するために、国、地方公共団体、企業、国民が担う責務を明らかにし、2005年4月1日から施行されている法律）の下で、従業員の子育てを支援するための目標を計画期間、目標、目標達成のための対策を定めた「一般事業主行動計画」を策定し実施しています。

当社は、2015年4月1日～2018年3月31日の行動計画で策定した目標を達成し、一定の要件を満たし「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定（くるみん認定）を受けています。



女性活躍推進の取り組み

日本は急速な人口減少を迎えて将来の労働力不足が懸念されている中で、企業における人材の多様性を確保することが不可欠となっており、女性の活躍推進が重要と考えられています。また、企業においては女性社員が能力を高めつつ継続就業できる環境を整えることは、人材の確保・定着や社員のモチベーション向上など多岐に渡りメリットがあります。

女性活躍推進の取り組みは、女性活躍推進法（女性の個性と能力が十分に発揮できる社会を実現するために、国、地方公共団体、民間事業主の各主体の女性の活躍推進に関する責務等を定めた2016年4月1日から施行されている法律）の下で、女性の活躍を推進するための目標を計画期間、目標、目標達成のための対策を定めた「一般事業主行動計画」を策定し実施しています。

両立支援や女性活躍の取り組みは、厚生労働省の「女性活躍・両立支援総合サイト」に掲載されています。



「新潟市健康経営認定事業所」として認定されました



「新潟市健康経営認定事業所」とは、健康経営に取り組む事業所を認定するものです。「健康経営」とは、働き盛り世代の健康づくり推進に向け、社員の健康保持・増進の取り組みが将来的に収益性を高めるものと考え、社員の健康管理を経営的な視点から戦略的に実践することです。

企業が経営理念に基づき、従業員の健康保持・増進に取り組むことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらす、結果的に業績向上や組織としての価値向上へつながることが期待されています。